



学校図書館巡回ニュース

かんがえ かんがえ

80号

2026年6月発行

蘭越町花一会 Tel・fax 57-6085

学校図書館巡回派遣事業担当

若林由美子（司書・司書教諭有資格）

金子千明（司書有資格）

目的をもって答えを導き出す経験となる調べ学習は、情報を集め発信する力の基礎となります。図書館の支援授業では上手に本を探す方法や著作権を知り尊重して発信することの大切さを伝え、情報活用に関する指導を支援します。

また、本だな事業や並行読書のための支援など「読む」体験を子どもたちがたくさんできる環境作りを行います。



調べ学習を支える図書館授業支援

学習の土台となる辞書の活用のために

4月 蘭越小3年 「国語辞典の使い方」



5月 昆布小3年 「国語辞典の使い方」



6月 蘭越小4年 「漢字辞典の使い方」



これから図書館を使う1年生に

5月 蘭越小 「図書館オリエンテーション」



引き方の説明後、新聞から漢字を選んで漢字辞典で部首を調べました。みんな集中して調べていました。

図書館でできること、ルールやマナーを学んで、今後の利用につなげます。

調べ学習で図書館を上手に使う方法を学ぶために

6月 蘭小3年生 「本をさがそう」



図書館分類の説明後、指令書の本を探し出し、図書館地図に分類記号を入れます。分類の数字と棚との関係についてこの活動を通して学びます。

5月 蘭小4年生 「分類をもとに本を見つけよう」



図書館分類の説明後、グループで0～9類の本を複数冊ずつ集め、ミニ図書館を作る活動を通して分類の数字と棚との関係について学びます。この活動で調べるために必要な本を探したり片づけたりができるようになることを目指します。



「読む」を応援する図書館の支援

6月 蘭小4年生国語 「ぞろぞろ」



「落語を知ろう、楽しもう」をテーマにブックトークを行いました。落語という日本独特の芸能についての説明と落語家のしゃべりをCDで楽しんだり、「寿限無」を役になりきって分け読みしたりのプロプログラムを最後まで集中が切れず、楽しんでいたように思います。教室にはたくさんの落語絵本を配本しました。

6月 蘭越中学校「生徒が作る学級文庫」

休み時間を使っの学級文庫作りは生徒全員参加の声かけで行います。学年別に3日間で行いました。普段図書館に足を踏み入れない生徒もじっくり棚を見ることになったのではないのでしょうか



6月 昆布小学校 「みんなの本だな」



本屋さんを覗くことが当たり前ではない蘭越で、自分で好きな本を選ぶ体験はとても貴重です。自分で選んだ本が文庫となり、教室で自由に読んだり、友達にすすめしたり、借りて帰ったりできる環境を大切にしたいと思います。

「本だな事業」において「学級文庫」は家への**持ち帰り貸出しを推進**しています。足りない場合は**いつでも追加**できます。学級でルールを決めて家庭でも読書の時間を持てるよう、学校・家庭・図書館で子どもたちの読書を支えられるようお願いいたします。